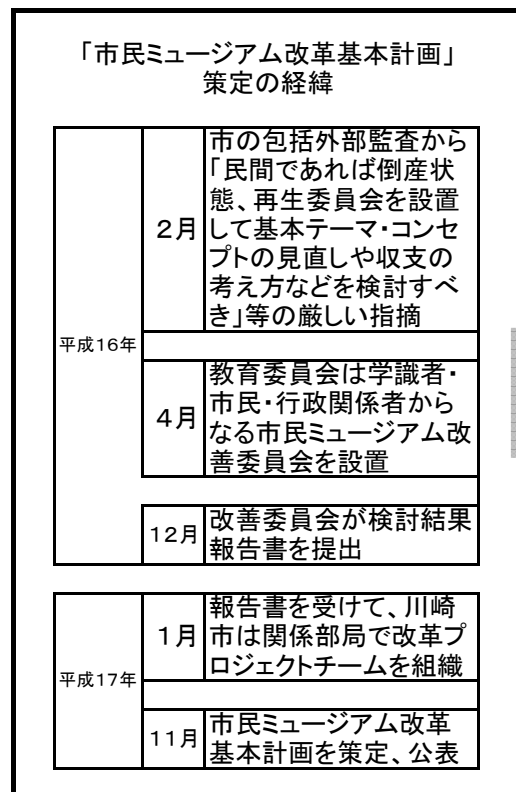


市民ミュージアム改革の推移

(18～21年度は実績、22年度は目標)

(青文字は「市民ミュージアム改革基本計画」に定められた事項)



各年度の位置づけ	18年度 基盤整備	19年度 改革施策の立案と具体化	20年度 改革施策の実行	21年度 改革施策の実行
経営	<ul style="list-style-type: none"> ●財団運営から市直営に変更 ●公募による民間からの新館長就任 ●市民ミュージアム協議会の設置 ●市文化行政における市民ミュージアムの役割の明確化 ●市民ミュージアム運営方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後3年間の改革による到達目標を設定 ●企画展の位置づけを明確化 ●施設改修 ●ビデオコーナーを廃止してミュージアムギャラリーに改修 ●遺選展示空間に中庭側からの入口の新設 ●第2企画展示室の新設 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民ミュージアム評価制度の導入 ●評価委員会の設置 ●市民モニター制度の試行 ●情報公開の推進 ●20周年事業、実相寺昭雄氏遺品寄贈について記者会見を実施 ●前年度活動報告、20年度施策、ミュージアム評価制度などをHP上にアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●本庁関係部局、生涯学習財団とともに、改革の検証と以後の管理・運営体制の検討作業を進める ●会議体の整理・改善 ●事業実施の意思決定機関として事業調整会議を新設し、決定プロセスを明確化 ●日常業務の管理・運営の遂行状況について生涯学習財団と定例会議を設置 ●市民ミュージアム評価制度の定着
組織・人事	<ul style="list-style-type: none"> ●主要課題について館職員をメンバーとするワーキングチームを編成し検討 ●ボランティアの導入 ●サイン計画 ●ホームページの改善 ●体験型ミュージアム ●貸し館事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●組織変更 ●企画広報担当の新設 ●学芸9部門を博物館・美術館の2部門に統合 ●新たな課題への対応を含めてワーキングチームを再編成 ●評価制度の検討、20周年企画の立案 ●情報コーナーの改善、教育普及、ボランティア導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな業務付加を現行要員数で吸収 ●ボランティア組織の構築、学校連携事業の強化 ●嘱託職員一部の担当業務を変更 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育普及担当の新設 ●効率的な運営のために市職員の業務分担を見直し、再編
運営	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の一部貸出しを開始 ●研修室 ●映像ホール ●ミニホール ●東急・小田急各グループカード会社及び友の会とタイアップ ●ミュージアムショップでのクレジットカード決済を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示の観覧を無料化 ●館内導線・サインの改善 ●館外掲示・表示板の改修 ●ホームページのリニューアル ●収蔵品データベースの公開 ●市内小中学校教諭等をメンバーとするミュージアム教育研究会を設立 ●貸出し対象施設を拡大 ●企画展示室 ●遺選展示空間 ●ミュージアムギャラリー ●アートギャラリー ●中原区役所との連携 ●区役所ロビーにミュージアム案内コーナーを設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●漫画・コミックを中心とした開架式の図書コーナーをミュージアムライブラリーとして新設 ●教育普及プログラムの新規作成による小中学生の利用拡大 ●ボランティアの導入、組織化に着手 ●企画展示室を外部団体に貸出 ●日本・ブラジル交流100周年記念美術展 ●日韓美術交流展 ●文化団体、地域団体、企業との連携強化 ●濱田庄司展－高津区文化協会 ●ともに生きる展－とどろき水辺の楽校 ●たたら製鉄イベント－鉄鋼連盟 ●20周年イベント－新丸子商店街 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育普及活動の充実 ●市民ミュージアムの特徴を活かした普及プログラムの実施 ●スクールプログラムの内容充実による学校利用の拡大 ●ボランティア組織の定着・拡大 ●自主性、やりがいを高める業務の負託 ●ボランティアによるママカフェの実施 ●登録者拡大施策の強化 ●外部の団体との連携をさらに推進 ●おやじdeミュージアム－川崎おやじ連 ●ペットスタープロジェクト－川崎総合科学高校 ●星野富弘展－企業協賛金による媒体露出の拡大
事業	<ul style="list-style-type: none"> ●慶應義塾大学DMC機構と「映像作品のデジタル化」「ミュージアムの活動の動画配信」をテーマに共同研究を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●本庁部局との連携企画の実施 ●韓国現代マンガ展 ●産業都市カワサキの歩み100年展 ●みんなのデザイン展 ●市ゆかりの作家展の開催 ●与勇輝展 ●斎藤寿一展 ●市内小中学校連携展示会の実施 ●「創造する子どもたち展」の規模拡大 ●「中学校技術家庭作品展」の新規開催 ●慶大DMCとの共同研究 ●所蔵の「桃屋CM」のデジタル化と公開利用 ●市民ミュージアムの活動の動画配信を定例化 	<ul style="list-style-type: none"> ●収蔵品の活用、地域とのつながりを重視した20周年記念企画の実施 ●出張ミュージアム 川崎ぐるっと博物館展 ●濱田庄司展 ●粟津潔展 ●ともに生きる－欲望・矛盾・創造－ ●等々力アートパーク ●市内小中学校連携展示会の拡大 ●「創造する子どもたち展」「中学校美術造形展」「中学校技術家庭科作品展」の定例化 ●市や地域に関わる事業の展開 ●日本陸上応援展 ●横田めぐみさんの写真展 ●日本学生科学賞受賞者に聞く 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●集客と話題性を意識した事業の実施 ●サンデー・マガジン50周年展 ●星野富弘展 ●「昔のくらし今のくらし展」の関連企画として学校給食を還元提供 ●毎日映画コンクールと連動したドキュメンタリー部門受賞作の上映 ●貴重な記録映像「セレベス」の復元上映 ●かわさき市美術展の開催 ●会場変更を機に改善策を実施(通期開催、中高生対象の部門新設など) ●学校連携事業の拡大 ●一般向けの参加型ワークショップを強化 ●おやじdeミュージアム ●ペットスタープロジェクト ●ふるしきワークショップ 等

改革を継続推進

